

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R4(2022).11.11
豊岡市のホームページにもアップしています

No.7

ズレを「生み出し」「見つけ」「生かす」授業づくり

豊岡市学力向上検討委員会からの提案

知識や技能を活用する授業づくり

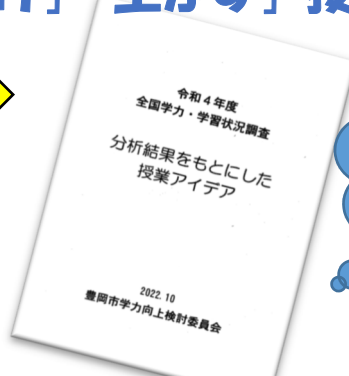
Q授業前半で習得した知識や技能を活用し新たな課題を解決したり表現したりする活動を取り入れていますか？

「コミュニケーション力」4視点^{りょく}を活用した授業づくり

Q教科の授業の中で「めざすコミュニケーション能力育成の4つの視点」を活用していますか？

思考法を活用した授業づくり

Q本時の目標を達成することが大切です。そのために、どの思考法が有効かを考えて授業に取り入れていますか？



10月31日
校内研修担当者
研修会より

ズレを生み出し、見つけ、生かす授業づくり

Q子どもたちの多様な考えを引き出す発問をしていますか？ 【ズレを生み出す】

Q子どもの発言の何が同じで、何が異なるかを見つめながら聴いていますか？ 【ズレを見つける】

Q本時の目標の達成に向けて話題を焦点化し再提示（追発問）していますか？ 【ズレを生かす】

兵庫教育大学大学院 勝見教授による講義

「思考のずれ」は、単独で生まれるものではありません。「関係づける思考(類比、対比等)」を使ってズレを生み出し、見つけ、生かす授業づくりが求められます。

問口の広い学習課題を設定していますか？

ズレを生み出すためには、関係づける必要がある、魅力ある課題の設定が欠かせません。

- ※ 正解型（大造じいさんはどんな仕事か）から考察型（じいさんはどんな狩人といえるか）へ（理由、根拠、主張が多様なもの）
- ※ 子どもの生活や他教科等の学習とのつながりがあるもの

今行われている校内研修に、このような視点を取り入れて見直してみませんか？

議論を焦点化し、考えを深める手立てを講じていますか？

- 1 問口の広い学習課題（発問）を提示する
- 2 課題に向けた自分なりの考えをつくる（ここでも関係づける思考が使えたら…）
※子どもの考えの「ずれ」をみとり、【教科として】学びが深まるための契機・入口の働きかけを想定しましょう。
- 3 全員で考えを交流する【累積的な対話】
※ **ここで終わっていませんか？**
- 4 思考の質を深める【探索的な対話】

教師からの関与

思考のずれを見つけ「問い返し」や「ゆさぶり」を行う